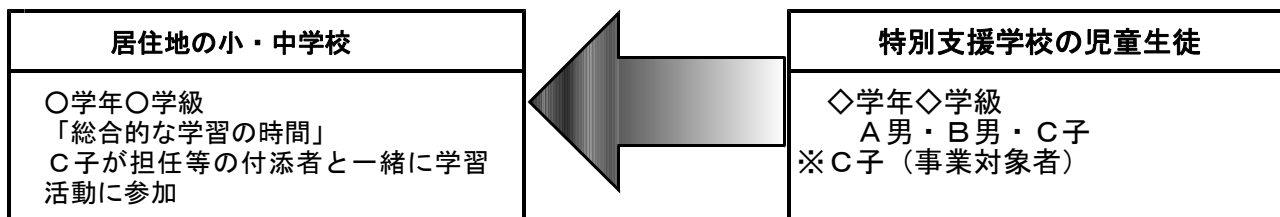


【居住地校学習推進事業】（平成16年度～）

《事業の目的》

県立特別支援学校（高等学園を除く）に在籍する児童生徒に対し、その居住地の小・中学校の児童生徒との学習活動の機会を提供することにより、学校生活の充実及び卒業後の社会参加の促進を図るとともに、地域における特別支援教育に対する理解を深めることを目的とする。



＜支援体制＞

- ・担任等の付添者の旅費・後補充講師の配置・教材作成費用の補助・事業連絡会（年2回）の開催

定期的な活動

通年型(学期数回の1日を通しての学習)、短期集中型(1～2週間通しての学習)、固定曜日型等における様々な学習活動や音楽、体育、図工等の教科学習等多様なパターンの学習を実施する。

具体的な学習例

- 特別活動
学級活動・学校行事（児童会、合同学習発表会、合同運動会、遠足・校外学習等）
- 総合的な学習の時間
単元「作物を育てよう」年6回（事前・事後学習、田植え・除草・稲刈・収穫祭）
単元「清掃奉仕をしよう」
- 教科学習（小学校：生活科、体育、音楽、図工等）（中学校：体育、音楽、美術、英語、家庭科等）
- ※聴覚支援学校教師が事前に居住地校の交流学級において手話、口話等について出前授業を実施

＜参考＞平成16年度から平成22年度までの実施状況

項目 \ 年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業を実施する特別支援学校（校）	9	11	15（17）※	15（17）※
事業を受けてくわ小・中学校（校）	52(小:46, 中:6)	73(小:59, 中:14)	131(小:102, 中:29)	173(小126, 中47)
学習活動の回数（回）	165(小146, 中19)	338(小278, 中60)	726(小560, 中166)	920(小649, 中271)
参加人数（人）	63(小:56, 中7)	94(小:74, 中20)	162(小125, 中37)	217(小158, 中59)
交流実施割合 (参加人数/小・中学部在籍数)	8.0%	13.1%	19.2%	25.1%

項目 \ 年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成 年度
事業を実施する特別支援学校（校）	15（17）	15（17）	15（17）	
事業を受けてくわ小・中学校（校）	195(小:133, 中:62)	203(小139, 中64)	211(小154, 中57)	
学習活動の回数（回）	878(小626, 中252)	754(小529, 中225)	887(小625, 中262)	
参加人数（人）	250(小:175, 中75)	256(小176, 中80)	268(小184, 中84)	
交流実施割合 (参加人数/小・中学部在籍数)	28.2%	27.2%	27.1%（22.7現在）	

※（ ）は、分校2校を含む実数。